

## 昭和59年度 福島県教育センター所員研究課題一覧

本教育センターでは、研究事業の一環として各所員が個人研究を行うことになっている。この研究は、個人の専門性を高めるとともに、その成果を研修講座に反映させ、講座内容のいっそうの充実を図るために、各所員が研究課題を設定して行うものである。今年度における各所員の研究課題は、下記のとおりである。

所 属	氏 名	研 究 課 題	
経営研究部	菅野家作	学校教育目標の具現化過程に関する基礎的研究	
	研究 係	本田孝	教育課程評価の実際について
		荒晶子	学校経営の心情構造
		藤本忠平	児童生徒の連帯意識をはぐむ人間関係の研究
	教科外 教育係	松本喜男	連帯感を育てる人間関係に関する研究
		渡部悦夫	道徳の時間の効果的な指導 — 指導過程を中心に —
		片寄秀雄	特別活動の評価に関する研究 — 児童活動・生徒活動 —
		山田明	学校教育におけるパソコンの利用について
	教育 資料係	植田守	教育工学的手法による授業の改善
		赤沼良清	イザナミノ神と黄泉国論考
教科教育部	藤永克彦	社会科学習と指導のための評価に関する研究	
	須永英次	授業分析のあり方 — 児童生徒の変容をめざした授業の創造 —	
	教科 教育係	石田威	学校体育経営に関する基礎的研究
		田部定義	英語における主観テストの妥当性・信頼性に関する事例研究
		上川洋行	パソコンと確率の指導
		星英雄	一人一人の表現力を高める指導
		五十嵐康雄	「歌唱表現」における評価
		遠原肇一	中学校社会科における到達度目標の分析と評価
		田中四郎	つくる教育の在り方を求めて—想像する頭をつくり、手を通して思考させるために—
	深谷秀三	器械運動における小・中・高等学校の一貫性に関する研究	
	(教育 研)	半沢正一	語彙指導の理論と方法(その5)
		杉原陸夫	社会科における地域素材の教材化
		江尻茂男	「観点別学習状況」の評価 — 中学校外国語科(英語) —
	科学技術教育部	原田伊佐雄	数学科における評価問題作成の手順とその評価の利用
		理科 教育係	大越勝忠
巨理尚寛			発想能力を伸ばすための物理領域に関する教材・教具の開発
高野忠夫			光合成量測定に関する実験について
上遠野洋明			中学理科の化学実験について
佐藤輝夫			充実した地学授業(天気図の見方と書き方)を展開するための工夫
大和田紀男			充実した理科授業を展開するための工夫—中学校理科第2分野を中心に—
大室幹男			学習意欲を高める課題提示のための教材教具の開発—中学校理科第1分野を中心に—
技術・ 家庭係		笹川征喜	技術・家庭科における教科経営の現状と改善の視点
		吉田和子	高等学校「家庭一般」の実験、実習をとり入れた指導と評価
		情報 教育係	吉田陽一
中野敏光			BASIC言語の機種別コマンド比較表の作成
黒須聡			TSS端末を利用した自動製図データ作成システムの開発
教育相談部	鹿俣和子	TSS端末を利用した自動製図データ作成システムの開発	
	坂本守正	学校教育相談に関する調査研究—「相対的な教師像」を求めて—	
	教育 相談係	坂本善一	学校教育相談に関する調査研究—「相対的な教師像」を求めて— 2年次
		嶋原弥	「暴力の背景としての攻撃性について」—特に子供の攻撃性について—
		野村忠之	問題行動をとる児童生徒への家族療法的アプローチII—教育相談における不登校(登校拒否)児について—
	海野和夫	教育に関する人間学的考察—主として学校における父親像について—	
	安倍治男	不登校(登校拒否)児の診断と指導(その2)—PTAの利用から—	
	佐久間益郎	教育相談における箱庭療法の利用について(その3)—不登校(登校拒否)にみられる箱庭の特徴を中心に—	
高石寛治	教育相談におけるバウム(樹木画)テストの利用②—不登校(登校拒否)児を中心に—		